

「奇跡のリンゴ」

私は毎朝、ニュース番組の最後に流れる占いを欠かさず見る。「天秤座、総合1位！」なんて言葉を耳にしたら、なんだか今日1日いい事がある気がする。逆にランキングの順位が悪い日は、朝から何だか重い気持ちになる。そして更に「今日のラッキーカラー」の色の服を着てみたりして、少しでもいい事が起こらないかと期待する。

「信じる」という事。

生きていく上でどれほど「信じる」という事が難しい事か。そして大切な事か。

毎朝恒例の「占い」なんて簡単に信じるのに、もともとトラウマ気質の私は、人を信じるという事が苦手だった。裏切られた経験があり、常に「信じる」という気持ちの裏側には、もしかしたら裏切られるかもしれないという不安がつきまとっていた。とてつもなく人に裏切られる事を恐れていた。「占い」を信じるように、素直に人を信じる事が出来たらどんなに楽かと思っていた。しかし、そもそも「人を信じるという事」と、「占いを信じるという事」ではレベルが違いすぎた。本当に「信じる」という言葉の意味を私はまだ知らなかったのだ。

私が本当の「信じる」事の意味を知ったのは、世界中全員が敵になっても、私だけは信じてあげようと心から素直に思える相手に出会った時だった。何の根拠もない。好きだの愛だの、そんな単純な事でもない。私はその人を信じる「覚悟」をしたただけだ。そして信じる自分に「責任」を持った。信じた結果、例え裏切られたとしても、それは信じた自分の責任なのだと思うようになった。そう思えたら、容易く「信じる」という言葉を口にしなくなったし、信じて裏切られる事の恐れが消えた。そして何よりも、信じる事で、相手も私を同じように信じてくれた。そこには敢えて「信じている」「信じて欲しい」なんて言葉は要らない。言葉では表さなくても、自然に信頼関係が築けるのだと知った。

思えば、今まで「信じる」という事にどこまで自分に「覚悟」と「責任」があったか。結局自分の事しか考えていなくて、裏切られる事を恐れながら「信じる」なんて事をしてきた自分に、本当に人を「信じる」資格なんてなかった。

「信じる」という事。

それは相手を信じる「覚悟」があって、信じた自分に「責任」を持つ事。そしてもっとも大切な事は「最後までその気持ちを貫き、信じ抜く事」である。それが「覚悟」であり「責任」である。だからやはり信じることは難しい。しかしそれが信頼関係を生むのであり、生きていく上ではとても大切である。